

高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種を受ける方へ

【 苫小牧市健康支援課 ☎ 0144-32-6407 】

1 肺炎球菌感染症とは

- 肺炎球菌感染症とは、肺炎球菌という細菌によって引き起こされる病気です。この菌は、主に気道の分泌物に含まれ、唾液などを通じて飛沫感染します。日本人の約3～5%の高齢者では鼻や喉の奥に菌が常在しているとされます。これらの菌が何らかのきっかけで進展することで、気管支炎、肺炎、敗血症などの重い合併症を起こすことがあります。
- 肺炎球菌が原因の肺炎（肺炎球菌性肺炎）は、成人肺炎の25～40%を占め、特に高齢の方は重篤化することがあります。

2 肺炎球菌ワクチンについて

肺炎球菌には 93 種類の血清型があり、現在定期の予防接種で使用されている「ニューモバックスNP（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）」は、そのうちの23種類の血清型に効果があります。また、この23種類の血清型は成人の重症の肺炎球菌感染症の原因の64%を占めるという研究結果があります。

3 副反応について

副反応としては、局所の疼痛や熱感、腫脹、発赤が認められているほか、筋肉痛や倦怠感、違和感、悪寒、頭痛、発熱があらわれることもありますが、いずれも軽度で3～4日で消失するとされています。なお、重篤な副反応の発生頻度は、0.0019%（※）とされています。※平成25年4月1日から令和5年3月31日までの数値

接種対象者

過去に高齢者肺炎球菌ワクチン（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）を1度も接種したことがない市民の方で、次の(1)又は(2)に該当する方

- (1) 満65歳の方
- (2) 60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する方で、身体障害者手帳1級をお持ちの方（※身体障害者手帳の交付理由となっている障害が単独であること）

接種料金

2,500円（生活保護世帯の方は無料です。受診時に必ず生活保護手帳を提示してください。）

《 予防接種救済制度について 》

万が一、定期予防接種が原因で健康被害が発生した場合は、予防接種法に基づく救済制度があります。この救済制度の請求について、厚生労働省が予防接種との因果関係を認定した場合、国の定める医療費、医療手当等の給付を受けることができます。

裏面もお読み
ください。

予防接種を受ける前の注意事項

高齢者肺炎球菌ワクチンの接種は、義務ではなく、対象者本人が接種を希望する場合のみ行います。また、予防接種を受ける本人が予防接種希望書（予診票）に署名できない場合は、家族やかかりつけ医によって特に慎重に本人の接種意思の確認を行い、接種するかどうかを決める必要があります。

※対象者の意思確認ができない場合、予防接種法に基づく予防接種はできません。

次のような方は予防接種を受けられません

- 【1】接種会場（医療機関）で測定した体温が37.5℃以上の方
- 【2】重とくな急性疾患にかかっている方
- 【3】その日に受ける予防接種によって、または予防接種に含まれる成分で、アナフィラキシーを起こしたことがある方
（※「アナフィラキシー」とは、通常接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。）
- 【4】過去に高齢者肺炎球菌ワクチン（23価肺炎球菌莢膜ポリサッカライドワクチン）を接種したことがある方
- 【5】その他、医師が不適当な状態と判断した方

次のような方は予防接種を受ける前にお医者さんとよく相談してください

- 【1】心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患がある方
- 【2】予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- 【3】過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- 【4】過去に免疫不全の診断がなされている方や近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 【5】接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈する恐れのある方

高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を受けられない場合の注意事項

以下の場合等においては、その後、肺炎に罹患、あるいは重症化・死亡が発生しても、市及び担当した医師にその責任を求めることはできません。

- 【1】接種医師の説明を十分聞いた上で、ご本人が接種を希望しない場合
- 【2】家族やかかりつけ医の協力を得てもご本人の意思確認ができず接種できなかった場合
- 【3】当日の身体状況等により接種できなかった場合

予防接種を受けた後の注意事項

- 【1】接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けるようにしてください。
- 【2】接種後、生ワクチンでは4週間、不活化ワクチンは1週間は副反応の出現に注意しましょう。
（※高齢者肺炎球菌ワクチンは、不活化ワクチンです。）
- 【3】接種当日から入浴しても差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- 【4】接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。